

第2回サロン・ド・すーがく 数学を語り合う広場 〈初等超越関数の世界〉

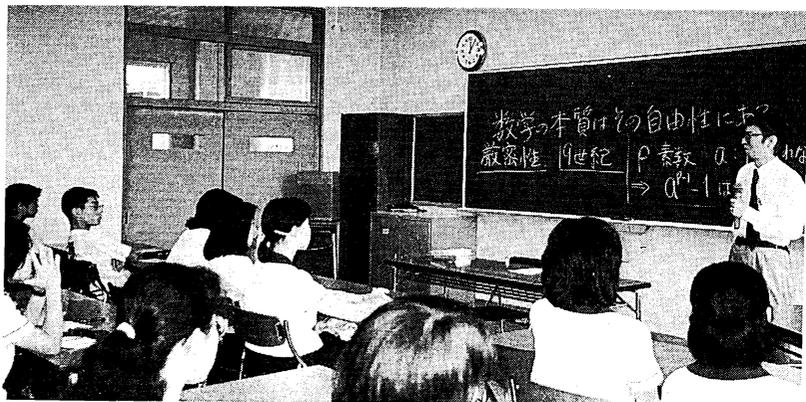
日本数学会主催の第2回「サロン・ド・すーがく」は、1996年7月20日（土）に福島県立福島女子高等学校で開催された。

数学には「する」楽しみ、「聞く」楽しみ、そして「語る」楽しみがあります。日本数学会の広報活動の一環である『サロン・ド・すーがく』は数学について語り合う広場です。今回、講師は大沢健夫氏（名古屋大学大学院多元数理）および渡辺公夫（筑波大学数学系）が担当し、高等学校で学習する範囲内において数学について語り合うことが目的であった。大沢氏が「数」に関する話題を提供し、渡辺が三角関数・指数関数・対数関数の相互の関係について話をすすめた。約55名の参加者の主体は福島女子高校の学生であり、他に会津、郡山からも参加していた。両講師とも快適な講義を行うことができたが、これは福島県高等学校教育研究会数学部会（会長 川村紀夫 安達高等学校長）の協力と参加者の熱心な聴講のお陰である。天気は曇りで、校舎の改築工事中ではあったが、第2回の数学を語り合う広場「サロン・ド・すーがく」も成功裏に終わった。

福島県の数学部会の先生方、福島女子高等学校の松浦哲雄先生には、「サロン・ド・すーがく」の開催中はもちろん、準備の段階でも大変お世話になった。この場を借りて感謝申しあげる。また、筑波大学大学院数学研究科の奥間智弘、金坂尚礼両君には会のお手伝いをお願いした。なお、1997年度は和歌山県での「サロン・ド・すーがく」を7月下旬に開催の予定であるが、高等学校からの要請があれば随時開催を検討する。

以下の文章は、渡辺が福島女子校での「サロン・ド・すーがく」で概略を話し、東京工業大学での高校生のための公開講座のために用意したものをもとに、「角度、微分形式」に関する記述を加えたものである。編集委員会の求めに応じて、書き直した次第である。

渡辺公夫（筑波大学数学系）



福島女子高等学校
に於いて
講師は大沢健夫氏